

この子らと

令和4年10月号

命輝く子ども



いもほり

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

11/4日(土)運動会!!!

“今年は、人数制限なしです。”

「綱引き」(新種目)



**保護者によるクラス
対抗綱引き**に参加
できませんか。参加申込
みについては、後日連
絡いたします。

「燃ゆる感動かごしま国体」が10月7日(土)~10月30日(月)まで開催されます。その後、引き継いで「燃ゆる感動わくわく鹿児島中央認定こども園大運動会」が開催されます。

国体選手に勝るとも劣らない本園の子どもたちが躍動し、感動をプレゼントしてくれると思います。

「運動会 カメラ 片手に 母走る」
「運動会 子の手握れば 走りたし」



入園説明会

10月14日(土)

10:00~11:10



【対象者】 令和6年4月以降に本園への入園を希望される乳幼児の保護者及び在園児の保護者のみなさまです。

【内容】 本園がめざす乳幼児教育・保育とその根拠、園の概要、入園までの流れ、諸経費、準備するものなど

【人数制限】 人数制限は、ありません。

【募集対象】

3歳・4歳・5歳児幼稚園機能の1号認定児

3歳・4歳・5歳児保育園機能の2号認定児

0歳・1歳・2歳児保育園機能の3号認定児

【参加】 当日、受付でも、参加できます。

お知り合いの方にもお知らせくださると有難
いのです。

絵本「でんでんむしのかなしみ」(新実南吉)

上皇后美智子様が幼い頃、幾度となく読み聞かせてもらい、心に残っている絵本として新聞で紹介されました。

そのでんでんむしは、ある日突然、自分の背中の殻に悲しみがいっぱい詰まっていることに気づきます。友だちを訪ねて、もう生きていけないのではないかと、自分の背負っている不幸を話します。



そのでんでんむしは、別の友だちと、また、別の友だちと訪ねて行き、同じことを話すのですが、どの友だちも返ってくるのは同じでした。

そして、でんでんむしは、やっと、悲しきは、だれでも持っているということに気づきます。自分だけではないのだと。

悲しきは、みんなが背負って生きています。それでも、悲しみを乗り越えていくためには、しっかりと悲しむ時間が必要です。また、誰かに話し、聞いてもらい、誰かに共感してもらうことで乗り越えることができそうです。本を読むこと、それは、人の心の痛みや悲しみ、悩みや喜びのわかる人になるということです。

子どものつぶやき

「あきになったら」の絵本を見ていたとき、紅葉したかえでの写真を見て「見たことがある。」「お手てみたい」「ぼく、食べたことあるよ。」???
もみじまんじゅうのことでしょうか・・・

県・市の感染症の状況(9月11日~17日)最新

| | コロナ | インフル | 胃腸炎 |
|--------|---------|--------|--------|
| 鹿児島県 | 1,335 人 | 489 人 | 168 人 |
| 鹿児島市 | 431 人 | 107 人 | 72 人 |
| 市一日あたり | 61.6 人 | 15.3 人 | 10.3 人 |